R5 年度　人権教育講演会

「江戸落語を愉しもう！」

講師：アマチュア落語家　笑皆亭　ロロ　氏

端唄三味線　　藤本　　刃七　氏

10月7日(土)、アマチュア落語家の笑皆亭　ロロ先生と端唄三味線の藤本　刃七先生をお迎えし、人権教育講演会を開催しました。

笑皆亭　ロロ先生は、日本大学芸術学部へ進み、落語研究会へ所属。東京でお勤めをされた後、帰省し、落語道楽を再開。現在は、岡山おもれぇ会の副会長として活躍されています。

演目 「そば清」、「お見立て」の噺をお聴きし、話術や顔の表情に引き込まれ、江戸落語を愉しみました。

また、庄地区にまつわる地蔵の民話のお話しもしていただきました。

端唄三味線では、初めて聴かれる方も多く、素敵な音色と歌声に、とても貴重な体験をさせていただきました。

今回の講演会では、「落語は、人と人とが会わなければ成り立たない芸。向かい合って初めて成り立つ芸」とおっしゃられていて、人と人との関わり方についてもお話ししてくださいました。外出しなくても生きていけたり、スマートフォンがあれば生きていける時代かもしれませんが、人と人との繋がりや会話の大切さについて、改めて考える機会となりました。

参加者からは、「人と人の交わりが少なくなった中で、落語の大切さもよくわかりました。」「本格的な江戸落語や端唄三味線を拝聴することが少ないだけに、とても貴重な至福のひとときでした。」「現代人はスマホがなければ生活をしづらいように感じますが、人と人との交わりも必要ですよね。」などの感想が寄せられました。